

大会名 Competition	第38回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-101	Year Month Day Time 2025 年 5 月 3 日 9 : 30
場所 Place	能代市ニツ井町総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA 能代科技	24 1st 34 19 2nd 27 22 3rd 26 10 4th 25 0 T	チームB 東 山
75 ●		112 ○

主審:Crew chief
田村 高光 秋田
副審:Umpire
齊藤 紘希 青森
諸沢 駿 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代松陽高校 男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	／	佐藤 悠斗		0	0	0	0	0	4	×	藪 元太郎		12	0	6	0	3
5	×	金 隼輝		5	0	2	1	1	5	×	佐藤 凧	cap	15	1	5	2	2
6	×	信太 虹輝		23	5	4	0	1	6	／	横尾 理		4	0	2	0	0
7	×	高坂 岳	cap	9	0	3	3	2	7	×	新井 伸之助		10	1	3	1	2
8	／	下田 瑛斗		2	0	1	0	1	8	×	中村 颯斗		6	0	2	2	0
9	×	山崎 七星		13	0	6	1	0	9	×	ウヰトウ フワシヤ エノック		34	0	16	2	0
10	／	安藤 璃琥		0	0	0	0	0	10	／	鈴木 勇功		6	0	3	0	1
11	×	宮田 蒼羽		15	3	3	0	0	11	／	湯川 真央		5	0	2	1	0
12	×	松田 来翔		0	0	0	0	0	12	／	川口 律		6	0	3	0	1
13	／	近藤 愛翔		0	0	0	0	1	13	／	佐藤 蒼偲		2	0	1	0	0
14	／	岸部 瑛大		4	0	2	0	1	14	／	佐藤 久遠		12	2	2	2	3
15	／	熊澤 隼		2	0	1	0	3	15	／	千葉 颯太		0	0	0	0	1
16	／	名古屋 蒼良		0	0	0	0	0									
17	／	大嶋 遥佳		0	0	0	0	1									
19	／	黒澤 啓太		2	0	1	0	1									
コーチ		長谷川 聡						0	コーチ		大澤 徹也						0
Ａコーチ		遠田 貴大						0	Ａコーチ		山崎 健太郎						0
合計				75	8	23	5	12	合計				112	4	45	10	13

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	23	30.67%	信太 虹輝
2	15	20.00%	宮田 蒼羽
3	13	17.33%	山崎 七星

1	34	30.36%	ウヰトウ フワシヤ エノック
2	15	13.39%	佐藤 凧
3	12	10.71%	藪 元太郎
			佐藤 久遠

Score ranking[Game]

1	34	ウヰトウ フワシヤ エノック	東 山	2	23	信太 虹輝	能代科技	3	15	宮田 蒼羽	能代科技
									15	佐藤 凧	東 山

第38回能代カップ皮切りの初戦は京都の伝統校、東山と能代科技の対戦。

1Q、東山の圧倒的な高さでどう挑むかの能代科技、東山は長身の#9エノックにボールを集め着々と得点を積み重ねた。一方の能代科技は3Pで対抗。よく粘りを見せたが能代科技24-34東山の10点差で1Q終了。

2Q、東山はスタートからセンターを外し日本人だけで対戦。能代科技は出だしが悪く2分半無得点。東山はリズムよく得点を重ねていった。能代科技もT0後持ち直したが差は縮まらない。前半は能代科技43-61東山と18点差をつけられた。

3Q、能代科技は立て続けに点差を詰めるがじりじりとまた離される。ディフェンスを頑張ってフリースローを得るがごとくと落とす。ここにも課題がありそうだ。65-87と22点差で3Q終了。

4Q、能代科技は時折良い攻めを見せるが散發、ずるずると離される。能代科技#14岸部が入ると流れが良くなり得点を伸ばす。今後は引き寄せた流れを続けられることに望みを託したいところ。結局75-112と37点差の惨敗。